

多彩な研究、活発な質疑

—三校合同課題研究発表会報告—

◇期日：令和7年12月20日（土）

◇場所：富山国際会議場

◇発表者：富山高等学校、高岡高等学校、富山中部高等学校 探究科学科2年生

この時期には珍しい好天に恵まれた12月20日、富山国際会議場にて三校合同課題研究発表会が開催され、富山高等学校、高岡高等学校、富山中部高等学校の三校の理数科学科・人文社会科の2年生が数人のグループに分かれ、それぞれのグループで設定した課題について1年を通して研究してきた成果をポスターセッションの形式で発表した。会場には三校の1年生をはじめ、他校生・中学生や教職員、保護者、更には富山大学・富山県立大学の教員など900人を超える多様な来場者で賑わいを見せた。

開会式後の全体会では、各校の代表グループ1組ずつがメインホールで口頭発表を行った。プレゼンテーションソフトを用いた発表は、映像やアニメーションなどを用い、ポスターセッションとはひと味違った工夫の詰まったものだった。各発表後の質疑応答では、多くの生徒が積極的に挙手し、有意義な意見の交換がなされた。

全体会の後、いよいよポスターセッションが始まった。3階ホワイエと2階多目的会議室に物理・化学・生物・数学・情報・国語・社会・英語の8分野で、計58のグループが実際に様々な研究成果を発表した。生徒はそれぞれのグループで作成した2枚のポスターを使って、研究成果を約5分間で説明し、質疑応答では聴き手との間で様々な質問や意見が交わされ、発表を聞いた人はもちろん、発表者にとっても新たな視点を得ることのできる有意義な時間となつた。

閉会式では三校代表生徒が感想を述べた後、富山大学の2名の教授から理数科学科と人文社会科学科の発表それぞれについて講評をいただいた。

本発表会を通して、発表を行った生徒は探究活動に必要な7つの力のうち特に表現力を身につけられた。また、発表を聞いた三校の1年生は、来年度に自分たちがどのように探究活動を進めていくのか理解を深めることができた。

